

令和2年
11月6日発行

No.106



六戸町議会

らくのへ 議会だより



さつきぬま ビオトープ

さつき沼ビオトープ連絡協議会
六戸高校・六戸町



さつき沼ビオトープとは、公園の本来の生態系を復元し、動植物が息できるような空間を作る環境保全と環境教育をするものです。六戸高校は閉校する2022年度末まで、さつき沼のビオトープ化に取り組みます。

【平成31年度決算】

町のお金94億円を認定 2~3

【決算特別委員会】

町のお金どう使った? 4~5

【議案審議】

9月定例会で決まったこと 6~7

【一般質問】

六戸町消防団、Wi-Fi 環境の整備 8

【議員活動報告ほか】

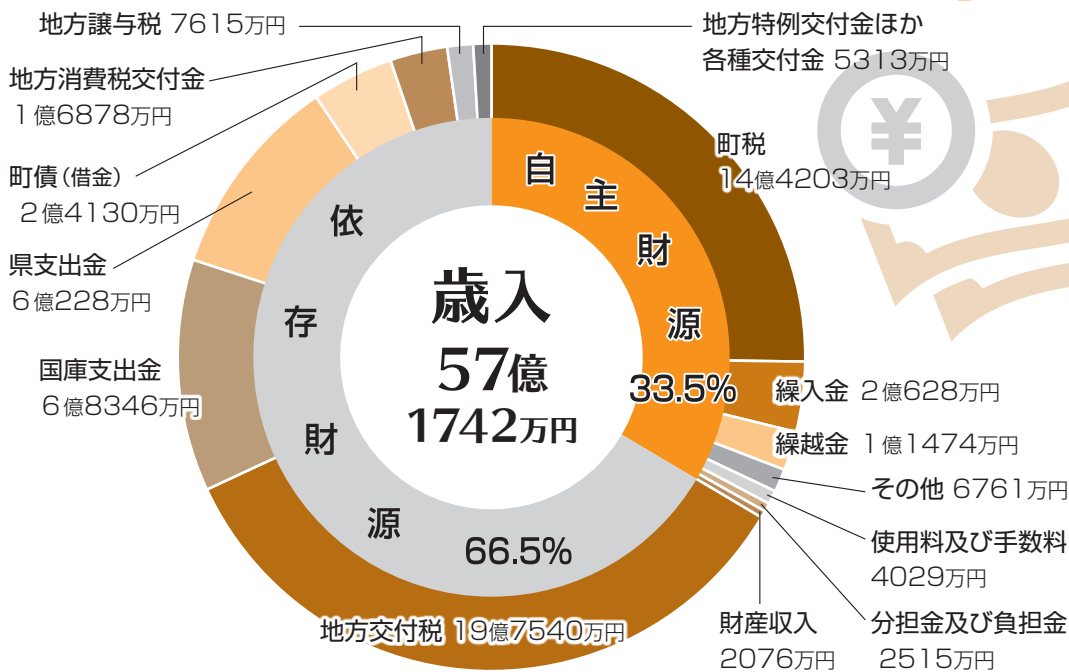
常任委員会、新人議員研修 10~11

9月定例会が9月4日から10日までの日程で開かれました。平成31年度の一般会計および各特別会計の決算は、議員全員による決算特別委員会が設置され、8日は一般会計、9日に各特別会計の審査を行い、委員全員の賛成で原案のとおり認定されました。

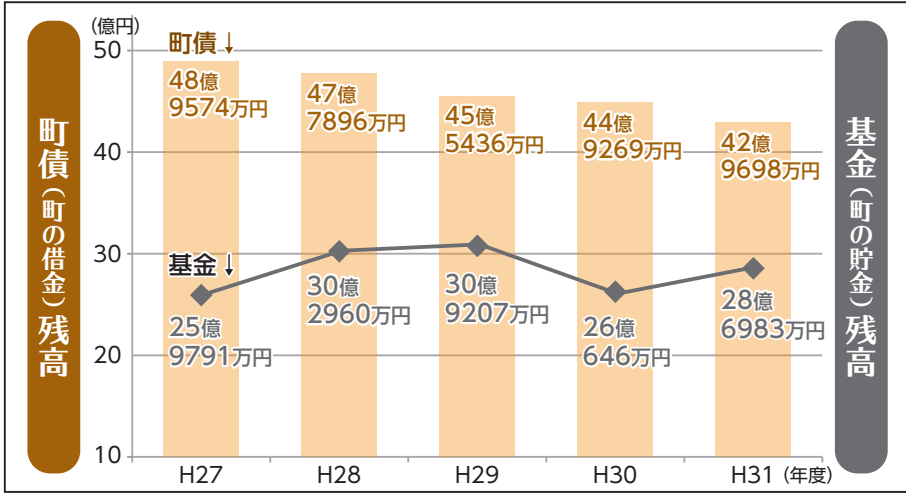
また、最終日の本会議では、平成31年度健全化判断比率等の報告のほか、決算認定、条例制定及び改正、補正予算、人事案件、議員発議の27件を審議した結果、全案件を原案のとおり認定、可決、同意しました。

94億円を認定

一般会計の歳入



町の借金(町債)っていくら?貯金(基金)はどのくらい?



町長から報告された財政健全化比率を紹介します

実質公債費比率

- 平成30年度 9.5%
- 平成31年度 9.1%

早期健全化基準 25.0%

※数値が大きいほど経費や借金の支払いが大きく、財政運営が大変な状況を示します。

監査意見

適正な財政運営

平成31年度における各会計歳入歳出予算の執行、財政運営及び財産管理の状況は、適正に処理されていると認められる。ただし基金総額は増額となったが、※財政調整基金は、年々減少しており（平成31年度は5万3千円の増）、将来の財政需要に不安を残す財政運営と言える。

※「財政調整基金」とは…
突発的な災害や急を要する経費に備えるために設置される基金（貯金）

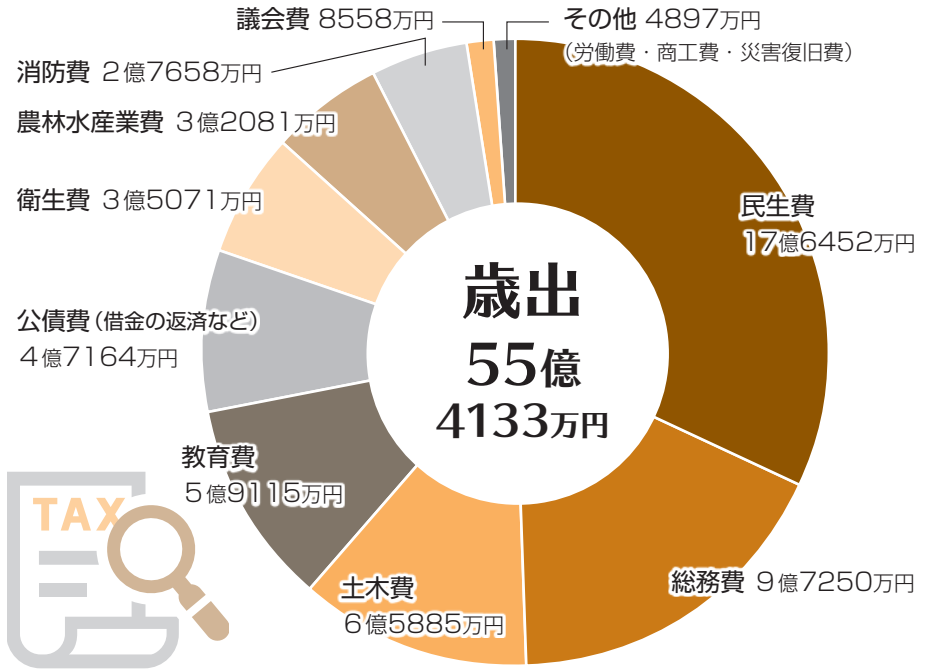
最大限の財源確保を

新型コロナウイルス感染症の影響が社会全体に広がり、景気の減速が顕著になり始めた。経済対策等を名目とした大規模な財政出動により、今後、国の財政逼迫、地方財政の悪化が一気に表面化しかねない状況が予想される。このような状況下であっても、最大限財源を確保し、必要なところに必要な支援が行き渡る事業運営や、それを安定的に支える効率的な財政運営を心掛けるよう、努めてほしい。



決算を審査している
吉田透代表監査委員(左)と種市正孝監査委員(右)

一般会計の歳出



平成31年度会計別決算の状況

(金額：万円)

会計の種類	歳入(収入)	前年度との比較	増減率(%)	歳出(支出)	前年度との比較	増減率(%)	
一般会計	57億1742	△3億9925	△6.5	55億4133	△3億60	△5.1	
特別会計	国民健康保険事業	12億4243	△1619	△1.3	12億2106	△706	△0.6
	下水道事業	3億3753	3207	10.5	3億3753	3260	10.7
	農業集落排水事業	1億2905	△4355	△25.2	1億2905	△4355	△25.2
	介護保険事業	14億6228	△575	△0.4	14億3593	659	0.5
	後期高齢者医療	1億2523	621	5.2	1億2357	507	4.3
	国民健康保険診療所事業	4億172	205	0.5	4億172	205	0.5
	特別会計の合計	36億9826	△2516	△0.9	36億4888	△430	△0.4

※金額はすべて1万円未満の金額を切り捨てているので、合計額と一致しません。

教えて!



町のお金 どう使った?

決算特別委員会

平成31年度の一般会計、各特別会計の決算内容について審査する決算特別委員会（久田伸一委員長・委員11名）が、9月8日・9日に開かれました。審査の結果、すべて原案のとおり認定となりました。委員から出された質疑を要約してお知らせします。

浄化槽

問 高坂茂委員

浄化槽の推進事業、浄化槽設置整備費、単独処理浄化槽撤去費とは

答 外山建設下水道課長
浄化槽推進事業補助金は、町単独事業の補助金です。5人槽の標準設置額83万7千円のうち3分の2を補助しています。

浄化槽設置整備費補助金は国の補助事業で、5人槽で35万2千円を補助します。

単独処理浄化槽撤去費補助金は平成31年度から新たに始めた補助金で、既存の単独し尿浄化槽を使っている方が、合併浄化槽に交換した場合に、補助金を交付するもので

す。限度額は1基当たり9万円です。

問 高坂茂委員

合併浄化槽の設置状況は

答 外山建設下水道課長
平成31年度末で合併浄化槽を設置している世帯数は593世帯。下水道未整備区域の整備率は28・1%です。

行政連絡員の報酬

問 山本実委員

行政連絡員の報酬の計算方法、業務内容は。また、町内会に入っていない人へ町の情報をどのように届けているか

答 川村総務課長

報酬の計算は、均等割が2万円、班数割が5千円、世帯割が500円となっています。

業務は、広報の配布や文書等の回覧、社会福祉

事業に関する募金の回収などをお願いしています。町内会に入っていない世帯に広報等を配付した場合は、行政連絡員へ世帯割の500円を支払っています。

工事請負

問 下田敏美委員

七百地区稲生川沿いの砂利道の簡易舗装工事をしたが、現場を確認すると防じん処理をした程度にしかみえない。工費であれば、最低でも表面処理はするべきではないか

答 吉田代表監査委員

舗装とは、石、れんが、コンクリート、アスファルト、砂利などを敷き詰めることで、簡易舗装と

は、砂利などを3〜4センチの厚さに敷き詰めることをいいます。よって、今回の件についてはその条件を満たしており、問題ないと判断します。

問 外山建設下水道課長

舗装の解釈は様々あるのですが、今後同様の工事をする場合は、簡易舗装ではなく、碎石舗装という表現に改めたいと思います。



▶簡易舗装工事をした七百地区稲生川沿いの砂利道

償却資産税

問 下田敏美委員

太陽光発電の売電単価が下がったため事業者の倒産が増えていると聞いている。当町に同様の事例はあるか

答 吉田税務課長

平成31年度において、太陽光発電施設がなくなつた、やめたという事例はありません。現在、六戸町内で太陽光発電の設備を造る方、設置する方は小規模ながら増えています。



▲当町では増えているソーラーパネル

その他 関連質疑



歩道の維持

問 山本実委員
大曲金矢線の町道で、春日台側の歩道に花や木を植え、歩行者の通行の妨げになる箇所があり危険だと感じているが、担

当課で把握しているか

答 外山建設下水道課長
植えている方に対し、文書で注意を行い、花や木を片づけてもらうことをお願いしています。

福祉部門の 第5次総合振興計画

問 杉山茂夫委員
コロナの影響で第5次総合振興計画の目標設定の見直しは

答 館福祉課長

平成31年度の後半はコロナの影響で健診、介護予防事業ができない状況でした。令和2年度に入り、全くできない状態か

ら、今は人数制限をかけた実施ができるようになっていますが、現状のままいくと、介護予防事業の人数は目標値の半数ほどになると予想されます。

地域包括支援センター

問 高坂茂委員
地域包括支援センターの業務量を考え、福祉課長との兼任ではない、専任のセンター長を配置す

るべきではないか

答 吉田町長

現段階ではセンター長という形は考えておりませんが、今後の運用や対応がどうあるべきかを確

認し、検討していきたいと思えます。

館野公園

問 杉山茂夫委員
館野公園のキャンプ場の利用者が増えている。管理するためにも有料化を検討してみても

答 外山建設下水道課長

近隣市町村の状況を調査し、今後の使用料等について検討したいと思えます。



▲館野公園のキャンプ場

道路の新設改良

問 山本実委員
大曲地区から小松ケ丘地区に抜ける第2大曲線の道路新設の見直しは

答 外山建設下水道課長

令和2年度は測量設計を行います。来年度は用地買収を行い、その後、工事に着手する予定です。



【第2大曲線】 現在ある道路を拡幅し、新たに道路新設する予定

道路支障木 剪定伐採業務

問 長根一男委員
のり面の木が大きくなるまで伐採を行っていないように感じる。剪定伐採業務は定期的に行っているものか、交通に支障

が出たときに行っているのか

答 外山建設下水道課長
道路支障木剪定伐採業務では、のり面のような道路敷地の支障木の伐採と、街路樹の剪定を行っています。民地から木の

枝が出て交通に支障をきたしているところは、連絡があれば所有者に町から文書で枝の剪定依頼をしています。作業は毎年計画的に行っています。

診療所の倉庫

問 長根一男委員
下町公民館のほうから診療所へ入ろうとすると倉庫があつて見通しが悪い。使用していただければ取壊してはどうか

答 吉田診療所事務長

診療所周辺の使用していない建物等については、来年度に向けて取り壊し、もしくは改修を計画したいと思えます。



▲診療所脇の古い倉庫

コロナ対策に重点 2億8254万円増額

一般会計補正

補正予算

- 一般会計補正予算では、歳入歳出に2億8254万円を増額し、総額で7億7697万円となりました。うち、補正の主な内容は次のとおりです。
- ◆**コロナ感染拡大の防止**
 - ▽公共施設等における感染拡大防止対策用の消耗品等購入（マスク、消毒液、災害時の避難所用の簡易テントほか） 973万円
 - ▽診療所の入り口、診察室を分離する工事ほか 1191万円
 - ▽住民票等コンビニ交付導入事業
 - マイナンバーカード保有者であれば、住民票、印鑑証明書、戸籍証明書等をコンビニから取得できるようになります。
 - ◆**生活に係る支援**
 - ▽情報伝達システム整備事業
 - スマホアプリケーションや戸別受信機（独居高齢者対象）を利用し、確実な防災情報の伝達を行います。
 - ▽新生児養育支援給付金 700万円
 - 特別給付金の対象外となっている令和2年4月28日から令和3年4月1日に生まれた子どもに対し、一人につき10万円を給付します。
 - ▽新型コロナウイルス感染症対応医療従事者等慰労金給付事業 120万円

窓口の混雑を避けることができます。



▲マイナンバーカード

◆ICT環境整備

- ▽GIGAスクールサポート報酬 180万円
 - 学校ICT化を進める自治体等を支援するためICT関連企業の技術者2名を配置します。
- ▽家庭学習のための貸出し用*モバイルルーター通信料
 - WiFi環境が整っていない家庭へ貸出したモバイルルーターの通信料。

*「モバイルルーター」とは…小型通信機器

- ▽六戸町立小・中学校情報機器整備事業
 - GIGAスクール構想に基づく、児童生徒一人一台端末の早期実現を図り、全ての子どもたちの学びができる環境を整備します。



▶学習用タブレットとして選ばれたiPad



空調設備設置工事

種市正孝議員
新型感染症対策事業費で行う老人福祉センターと地域包括支援センターの空調設備設置工事の内容は。また、地域包括支援センターへ設置する空気清浄機は感染症に対する効果は検証されているか

答 館福祉課長
エアコンを相談室に設置します。相談時は締め切り密閉となるため、夏場の暑さ対策として設置するものです。

空気清浄機の効果については曖昧な部分がありますが、徐々に研究の成果が出てきているので、考慮して購入します。

小・中学生のタブレット端末

松橋一男議員
六戸町立小・中学校情報機器整備事業で数あるタブレットの中からiPadを選んだ理由は

答 瀧口教育長
国の補助要綱に3つの端末があり、一番出回っていて、小・中学生が馴染みやすいのものと、iPadを選択しました。

感染症対応慰労金の給付対象者

問 種市正孝議員
新型コロナウイルス感染症対応医療従事者への慰労金給付の対象範囲は

答 吉田診療所事務長
医師、看護師、受付事務、清掃員、警備員など診療所業務に関わる全ての人が対象です。

次のページは 一般質問

9月定例会の4日目に一般質問が行われ、盛田嘉彦議員が登壇しました。一般質問は、3月、6月、9月、12月に行われる定例会において、議員が町の施策の状況や将来の方針などについて、問いただしたりすることをいいます。

質問者と内容

8ページ



もりた よしひこ
盛田 嘉彦 議員

- ①六戸町消防団について
- ②Wi-Fi環境の整備について

一般質問とは

- ・定例会に限り、町政全般に関して議員が質問できます
- ・質問項目は事前の通告が必要です
- ・質問者の順番は通告した順番で行われます
- ・質問形式は「一問一答方式」で行います
- ・同一項目について質問の制限はありません
- ・一人60分の制限時間があります

議会を傍聴してみませんか？

議会を傍聴してみませんか？次は12月に定例会があります。

☎ 議会事務局
☎55-4547



まちづくり推進課は、商工観光部門と企画財政課のコミュニティー定住促進事業、総務課のふれあいの郷づくり事業、住民対策事業、また新たに町内会支援業務を所管とします。令和3年4月1日より新設されます。



▲産業課は名称が変わります

条例改正

◆「まちづくり推進課」を新設。産業課は「農政課」に改める。

六戸町空家等対策協議会の設置

不良住宅の除却、取壊し、不良住宅除却後の広場の設置等の事業を行うためには、空家対策協議会の設置が必須要件のため、協議会を設置します。協議会の委員は8名以内です。



▲町内の空き家が減ることに期待

人事

◆人権擁護委員

次の方を人権擁護委員に適任としました。任期は令和3年1月1日～令和5年12月31日までの3年間。
林 一枝さん
（小松ヶ丘）新任

◆副町長

次の方を副町長に同意しました。任期は令和2年9月14日～令和6年9月13日までの4年間。
下田 正幸さん
（七百）新任

規約変更

◆十和田地区環境整備事務組合規約の変更

六戸衛生センターの老朽化に伴い、新たに十和田市にし尿運搬及び処理施設を建設中です。それが稼働すると同時に、十和田地区環境整備事務組合は解散する予定です。



▲平成元年からある六戸衛生センター

議員

発議

◆六戸町議会基本条例の一部を改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、感染拡大防止の観点から議会報告会や意見交換会の開催が困難となっています。しかし、議会基本条例の規定に、「意見交換会は年2回以上開催し、議会の説明責任を果たす」とあり、開催が困難な場合には柔軟に対応できるように一部改正します。

◆新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書を提出

新型コロナウイルス感染症の拡大は、甚大な経済的・社会的影響をもたらしており、地方税・地方交付税等の一般財源の激減が避け難くなっています。今後の地方財政は、これまでにない厳しい状況になることが予想されます。よって国が令和3年度地方財政対策及び地方税制改正に向け、対策を確実に行うよう要望します。



もりた よしひこ 議員
盛田 嘉彦

消防団員の中型免許 取得費用の助成は

団員確保のために対応していきたい — 町長

問 道路交通法の一部改正に伴い、普通免許で運転できる自動車の範囲が変わった。消防団員が消防車両を運転できない状況もあり、その方々に対し、中型免許取得費用を助成できないか

町長 免許取得は団員確保等の観点から必要と考え助成していきたいと思いますが、しかし、免許取得は個人が私的なものでも活用出来るため、全額補助にするかは県・国等の状況を見て検討していきたいと思います。

問 消防車両にバックモニター及びドライブレコーダーを設置できないか

町長 消防団員の安全・安心を確保するとともに、敏速な消防活動を行うためにも、来年度からバックモニターとドライブレコーダーを設置する方向で進めていきたいと思っています。

問 世帯数が増加している小松ヶ丘地区に消防団を新設できないか

町長 消防団は強制的に設置できるものではなく、地域の方々が消防団を結成し、実施する意思があるのが重要なため、地域関係者の意見を伺ったうえで今後検討していきたいと思っています。



▶ 第一分団消防車両

ICT教育のための Wi-Fi環境の 整備状況は

町内全小・中学校、
総合体育館に順次整備 — 教育長

問 小・中学校、総合体育館のWi-Fi環境の整備状況は

教育長 町内全小・中学校のWi-Fi環境の整備はほぼ終了しており、総合体育館も今年度中に設置が完了する予定です。

問 自宅にWi-Fi環境がない子ども達にはどのように対応をするのか

教育課長 Wi-Fi環境のない児童・生徒に対しては町がモバイルルーターを貸出します。通信料等、町側で負担する予定です。

問 GIGAスクール構想・リモート授業は、教員、子どもの準備期間が短い状態で実施されるが、今後授業に対する負担が増加するのではないか

教育長 負担だけを考慮するのではなく、情報を多く取り入れた新しい教育指導、学習指導に力を入れていることができると捉えます。子ども達の学びに繋がるように、研修を積んで対応していきたいと思っています。

役場に 無料Wi-Fi導入を

セキュリティ対策の
観点から難しい — 町長

問 住民サービス向上や今後のリモート会議等を見据え、役場に無料Wi-Fiを設置してはどうか

町長 無料Wi-Fiは個人情報漏えいのリスクがあります。リモート会議等で使用したい場合は、無料Wi-Fiではなくパスワードを使うWi-Fiルーターであれば利用可能だと思います。

審議した議案の 賛 否

第3回臨時会(開会7月6日)

議案名		採決 賛否	審査 結果	採決 日
財産取得	財産の取得(スクールバス(中型バス)購入:2105万円)	全員賛成	可決報告	7月6日
	財産の取得(スクールバス(小型バス)購入:862万円)			
報告	専決処分の報告(損害賠償額の決定:メイプルバスが建物と接触し損傷させた事故。賠償額9万円)	—	—	—

第4回定例会(開会9月4日)

議案名		採決 賛否	審査 結果	採決 日
報告	令和元年度青森県新産業都市建設事業団特定事業及び特定事業以外の事業の決算報告	—	報告	9月10日
	平成31年度六戸町健全化判断比率の報告	—		
	平成31年度六戸町資金不足比率の報告	—		
平成31年度 決算認定	一般会計決算認定	全員賛成	認定	9月10日
	国民健康保険事業特別会計決算認定			
	下水道事業特別会計決算認定			
	農業集落排水事業特別会計決算認定			
	介護保険事業特別会計決算認定			
	後期高齢者医療特別会計決算認定			
	国民健康保険診療所事業特別会計決算認定			
規約変更	十和田地区環境整備事務組合規約の変更(解散に伴う事務の承継について)	全員賛成	可決	9月10日
条例改正	六戸町課設置条例の一部を改正する条例(産業課を農政課へ名称を改め、新たにまちづくり推進課を設置)			
	六戸町空家等対策協議会条例(空家等対策について協議する場として新たに協議会を設置)			
	六戸町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例(空家等対策協議会の委員の報酬を追加)			
令和2年度 補正予算	六戸町手数料条例の一部を改正する条例(マイナンバー通知カードの新規発行手続き廃止に伴い、手数料の文言の修正、削除)	全員賛成	可決	9月10日
	一般会計補正予算(第4号)(2億8254万円の増額補正)			
	国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)(98万円の減額補正)			
	下水道事業特別会計補正予算(第2号)(138万円の減額補正)			
	農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)(114万円の増額補正)			
	介護保険事業特別会計補正予算(第2号)(1129万円の増額補正)			
人事	後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)(214万円の減額補正)	全員起立	適任同意	9月10日
	国民健康保険診療所事業特別会計補正予算(第2号)(1459万円の増額補正)			
議員発議	人権擁護委員の候補者の推薦(林一枝氏=新任)	全員賛成	可決	9月10日
	六戸町副町長の選任(下田正幸氏=新任)			
議員発議	六戸町議会基本条例の一部を改正する条例	全員賛成	可決	9月10日
	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う地方財政の急激な悪化に対し地方税財源の確保を求める意見書の提出			

総務常任委員会

今年度の活動を協議、所管課の説明を受ける

総務常任委員会では、7月14日に今年度の活動計画について協議し、県外視察研修や航空自衛隊三沢基地等の現地調査、並びに町民との意見交換会は、コロナ禍における感染防止の観点から中止としました。

また、8月18日に所管課から次のとおり、聞き取りを行いました。

総務課からは、新型コロナウイルスアウトブレイク感染症への対応をめぐり、感染症対策本部設置・会議の開催、

福祉・教育施設等への消毒液やマスクの配布状況、特別定額給付金の給付実績、飲食店等への給付や事業家賃補助、プレミアム商品券発行事業等の今後の予定についての説明。

また企画財政課からは、第5次六戸町総合振興計画を含む今後の町づくりについて、安全、安心な

住環境と医療環境の充実、子育て世代から教育環境の充実をメインに、人口減少、少子高齢化社会に向かつて持続可能なまち

づくりを目指す概要について。

最後に教育課からは、生徒一人一台iPad配布やモバイルWi-Fiの貸し出しなどの、リモート授業に向けた準備状況を調査し、臨時休校や1週間夏休み短縮等に伴う学校行事、小中学校の修学旅行の行先、運動会、文化祭等の日程について、それぞれ説明を受けました。

今後も所管事務調査を継続していくとともに、

をサポートするアシストスーツなどを見て回り、その性能と安全性の高さに驚きました。

産業民生常任委員会では、8月20日に大原地区で行われたスマート農業実演会の現地視察を行いました。

ドローンを活用した農薬散布、無人のロボットトラクターの実演走行、重いものを持つ際に身体

将来的には、六戸に居ながら沖縄の農地を耕すといった遠隔操作の研究も進んでいるそうです。

農業者が抱える大きな問題として、高齢化、後継者不足、働き手の確保があります。



▶アシストスーツの性能を体感

産業民生常任委員会

スマート農業実演会を視察

▶所管課からの説明を受ける



コロナ禍における委員会活動を模索しながら、リモートによる議会活動についても検討して参ります。

総務常任委員長

杉山 茂夫

スマート農業は日本の農業、日本の食文化、生産者を守るために必要ではないかと考え、今後どのような形で町に導入していけばよいか調査検証して参りたいと思います。

産業民生常任委員

盛田 嘉彦

新人議員研修

議員として活躍するために

8月27日、青森市の労働福祉会館において開催された、町村議会新人議員研修会に盛田議員と参加しました。講師は新潟県立大学国際地域学部准教授の田口一博氏。当初は議員経験のない先生の座学、実践が伴わない講義かと思っていました。

しかし、講義が始まるとその取材、研究に裏付けされた指摘は私たちが参加者を惹きつけるには十分な内容でした。

この経験を議員活動に役立てるよう努めて参ります。

(松橋 一男)

講義は第1部の「効果的な一般質問」、第2部の「議会制度と政務活動」からなり、第1部は一般質問を行う上での技術的なこと、第2部は制度的なことの説明でした。一般質問はなぜ議員側を向いてするのか、町村議会でも政務活動費は条例により交付可能などが、とても印象に残っています。



▶今後の議会活動に生かしたいと講義に聞き入る

町民の声

町民の皆さんの
がんばりは町の元気!!

今回は、Uターン
農業者の杉山武夫
さんです。

杉山 武夫 さん

プロフィール

南町地区在住。現在、六戸町牧野畜産農業協同組合代表理事組合長。61歳。八戸高専を卒業後、新潟の大学院を修了し、製紙会社に勤務。兵庫、東京、八戸と転勤の後、六戸町へUターン。妻と子は東京都在住のため、六戸と東京の自宅を往復して生活している。
趣味は農業。会社勤めの傍ら農業をし、温泉でゆっくりしてからの晩酌が毎日の楽しみ。



定年後は

自分が定年を迎えたら、図書館にいつて一日を過ごすイメージがあったんですが、なんとなくそれどころかどうだろうかと。そんな時に、仕事の都合で、東京勤務から八戸の工場へ転勤となり戻ってきた。

それが50歳のときでした。正直ラッキーだったと思っています。せっかくだから他の人がやっていない農産物を栽培してみようと考えました。

薬草栽培に挑戦

六戸で漢方を栽培している人もいませんし、自分が大手製薬会社と繋がりがあることや、近年、漢方治療が見直されているため、国内需要が増す可能性があると考え薬草栽培を始めました。

やってみて、薬草に使える農薬等が限られることや、出荷だけでは利益

が薄いため、別な取り組みも必要だと分かりました。今は、加工調整から保管までの一貫生産体制を敷くことや、道の駅で小売り販売が出来ないかと考えています。

やりがいのある農業

私は今も会社勤めをしています。その傍ら毎日朝夕と土日に農業もやっています。周囲から倒れるんじゃないかと心配されますが全然疲れません。

昔に比べて機械化が進み重労働も減りましたし、サラリーマンの対人関係のストレスと違い、自然を相手にするのは逆にストレス解消になっています。

ただ、自然は一生懸命やったらやった分、成果が自分に帰ってきますが、手を抜いたら抜いた分、自分へしっぺ返しがきます。とても素直です。だからこそ手が抜けない。そこも農業の魅力ですよ。

六戸の魅力ある風景

奥入瀬川の睦橋からみた八甲田山もきれいですし、牧場のところの通称ババへの坂（やすらぎの駐車帯前）から見た八甲田連峰は感動ものです。

町の真ん中に大きな公園があるのも素晴らしい。日本全国の中でも六戸ほど恵まれた環境、可能性を秘めている町はないと私は信じています。

聞き手 川村重光
長根一男



▶ 牧場に植えた芍薬（ババへの坂前）

編集後記

新人議員研修の一環として、三戸町議会定例会で行われた一般質問を視察して来ました。6人の議員が質問に立ちました。六戸とは質問時間の時間制限や形式が違っており、各自自治体によってやり方が違うことに驚きました。

休憩時間には、議員の方とお話しもさせていただき、議員間交流の大切さも学ばせていただきました。色々勉強になりました。

今後は、対話やふれあいを通じて、より深い質問ができるように努力するつもりです。

広報委員 盛田嘉彦

議会広報委員会

委員長 盛田嘉彦
副委員長 松橋一男
委員 川村重光
杉山茂夫
長根一男
種市正孝

発行責任者

議長 川村重光